



2022年 6月

株主通信

セコム株式会社

第61期決算報告



Top Message

さらなる飛躍を目指して
継続した成長投資を積極的に行い、
変わらぬ安心を社会へお届けする

当期の経営成績、「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けた各種の取り組み状況について、社長の尾関一郎からご説明いたします。

セコム株式会社 代表取締役社長 **尾関 一郎**



当期の経営成績

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

セコムではお客様と社員の安全確保を最優先に掲げ、マスク着用・手洗いの徹底、アルコール消毒液の設置・使用、時差通勤・テレワークの積極的な実施などにより、サービスの提供を維持しながら感染拡大防止対策に取り組んでいます。

当期のセコムグループの経営成績は増収増益となり、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益は当初の計画を上回り、過去最高を更新することができました。

これは、生活様式や経済社会活動が変化するなかで、セコムグループの社員が一丸となり活動し、多様化・高度化するお客様の安心ニーズにお応えできるサービスを提供してきた結果です。

「セコムグループ2030年ビジョン」の 実現に向けた取り組み状況

セコムグループは「安全・安心・快適・便利」な社会の実現に向けて策定した「セコムグループ2030年ビジョン」の取り組みを加速させています。

人手不足や高まるセキュリティニーズにお応えするため、1月には、世界初のAIを搭載したバーチャルキャラクターが警戒・受付を行う「バーチャル警備システム」、AI・5Gを活用して巡回・点検を行うセキュリティロボット「cocobo(ココボ)」を発売しました。2月には、「Apple Watch」や「iPhone」を使ってより快適に、より楽しく、「セコム・ホームセキュリティ」を使用できる「SECOM カンタービレ」アプリの配信を開始しました。

今後もこれまで培ってきた経験やノウハウ、技術力を活用しながら、セコムと想いを共にするパートナーとのオープンイノベーションにより、きめ細やかで切れ目のないサービスの提供を目指していきます。

最後に、株主の皆様へ

今年7月、セコムは創業60周年を迎えますが、一つの節目を迎えられるのも株主の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響をはじめ、先行きが不透明な社会・経済状況が続きますが、これからも最先端の技術を活用しながら、サービス品質と生産性を向上させるべく、システムや人への成長投資を積極的に継続していきます。

今後とも、社会に変わらぬ安心をお届けできるよう努め、さらなる飛躍を目指していきますので、私たちセコムグループにご期待・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

世界初、AIを活用したバーチャルキャラクターが警戒・受付を行う「バーチャル警備システム」を発売



AIを活用して受付業務を行う
「バーチャル警備員」

セコムは1月、世界初*となるAIを活用し警戒監視や受付業務などを行う「バーチャル警備システム」を発売しました。

本サービスは、現実空間を映しこむディスプレイ一体型ミラー上に3Dモデルとして表示したバーチャルキャラクター

「バーチャル警備員」が常駐警備サービスを提供するシステムです。「バーチャル警備員」はAIを活用して警戒監視や受付業務などを行い、対処や緊急対応などの業務は熟練した常駐警備員が担います。

「バーチャル警備員」は目配せなどにより存在感を発揮しつつ周囲の警戒・監視を行い、犯罪抑止効果を発揮します。内部にカメラや各種センサーを搭載し、AI解析により近づいた人への声掛けを行うほか、来訪者から話しかけられるとあらかじめ設定したシナリオに沿って、自律的に受付業務を行います。

「バーチャル警備員」からの映像・音声はリアルタイムで施設内にある防災センターのモニタリングダッシュボード（監視用アプリ）から確認でき、緊急時などには常駐警備員が適切に対応します。

今後もセコムは、先端技術を駆使して、社会の生産性向上に寄与するサービスを提供していきます。

*2019年4月現在（セコム調べ）

AI・5Gを活用、公共空間と調和するデザインのセキュリティロボット「cocobo」を発売

セコムは1月、商業施設やオフィスビルなどさまざまな場所に調和するデザイン性を持ち、最先端技術を活用して警備業務を行うセキュリティロボット「cocobo（ココボ）」を発売しました。

「cocobo」は、AI・5Gなどを活用し、常駐警備員の代わりに巡回警備や点検業務を行うセキュリティロボットです。巡回ルートを自律走行し、搭載したカメラでとらえた映像をリアルタイムでAI解析、残留者や転倒者、放置物などを検知します。不審者を発見した場合には、音声やライトでの警告、煙を使った威嚇を行うことも可能です。

点検業務を行う際はアームを装着し、ベンチの下や自動販売機の奥・底面など、人では確認が難しい場所も点検することができます。

セキュリティシステムや設備情報といったクラウド上のさまざまな情報と連携することも可能で、エレベーターを使ったフロア移動や災害情報の提供などを



巡回警備や点検業務を行う
セキュリティロボット「cocobo」

行います。常駐警備と連携した運用で、業務の効率化と品質の向上を図ります。

これからもセコムは、人とテクノロジーを融合した新しいセキュリティの創出に取り組んでいきます。

「Apple Watch」でホームセキュリティを操作 「SECOM カンタービレ」アプリを配信開始

セコムは2月、「Apple Watch」や「iPhone」を使ってより快適に、より楽しく、「セコム・ホームセキュリティ」を使用できる「SECOM カンタービレ」アプリの配信を開始しました。

外出時や帰宅時に、本アプリからの通知により「Apple Watch」をタップするだけで「セコム・ホームセキュリティ」を操作できます。操作キーを取り出す必要がないため、より一層便利で快適な体験を実現します。

「iPhone」の本アプリでは、セキュリティ操作のほか、日々の活動状況をまとめた「安心メッセージ」やセキュリティの操作履歴をグラフで表示した「セコムご利用状況」が確認できます。



「SECOM カンタービレ」アプリのApple Watchアイコン(左)とiPhoneホーム画面(右)

「Apple Watch」で取得した消費カロリー、歩数、睡眠時間、血液中の酸素レベルといったヘルスケアデータを「健康レポート」で確認でき、健康管理に役立てることも可能です。

さらに、アプリへのログイン、セキュリティ操作、歩数に応じて付与されるポイントを使い、「iPhone」の「SECOM カンタービレ」アプリの画面をお好みのデザインにカスタマイズして、楽しみながらご利用いただけます。

セコムは今後も「セコム・ホームセキュリティ」と「Apple Watch」を連携させたサービスを拡充していきます。

日本初のオートショックAED「AED 360P」と オンライン管理ができる「AED3250」を発売

セコムは昨年12月、日本ストライカー(株)がオートショックAEDとして国内で初めて承認を得た、ボタン操作を行わなくてもAEDが自動的に電気ショックを与える「AED 360P」を発売しました。

日本で普及しているAEDは、電気ショックが必要と判断された場合に救助者がショックボタンを押す必要がありますが、オートショックAEDは傷病者の心電図を解析後、必要と判断された場合に自動で電気ショックを与えることができます。これにより救助者の不安やストレスの軽減、傷病者への処置が遅れるリスクの低減が期待されます。



救助者の不安軽減とスムーズな処置が期待される
オートショックAED (写真は「AED 360P」)

2月には、カラー液晶画面付きのオートショックAEDで、オンラインで状態管理ができる「AED3250」も発売しました。音声ガイドに加えて液晶画面のイラストとメッセージで手順を示すほか、オートショックの前にカウントダウンで注意喚起するなど、操作をサポートする機能が充実しています。毎日行われるセルフテストでは、AED本体の故障、電極パッドの使用期限、バッテリー残量をサーバーに自動で送信。異常が発生した場合、セコムがお客様に連絡して正常化までフォローします。

セコムは、AEDのサービス拡充を図り、“AEDがいつでも、誰でも使える社会”の実現に取り組んでいきます。

店舗における接客のオンライン化を実現 「カウンター業務無人運用サポート」を提供開始

セコムグループで、コンタクトセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を担う(株)TMJは3月、店舗における受付業務をオンラインで対応できる「カウンター業務無人運用サポート」の提供を開始しました。

利用者が来訪する店舗型ビジネスでは、接客人員の見直しや運営の効率化が求められ、キャッシュレス決済やセルフレジの導入、無人店舗の拡大が加速しています。

TMJが提供するビデオ通話による映像サポートサービス「みえサポ」を活用した「カウンター業務無人運用サポート」では、従来は対面で行っていた顔や身分証による本人確認といった業務を遠隔で対応することができます。複数の店舗における同一業務を集約することで運用コストの最適化やサービス品質の均一化が実現できるほか、採用コストの削減、DXの推進にも役立てていただけます。

業務に必要なシステムから、対応マニュアルの作成、運用に至るまでワンパッケージで提供することで、オンライン接客による店舗型ビジネスの無人化をサポートします。

今後もTMJは、業務効率化やさまざまな採用課題の解決を実現し、生産性の向上に寄与するサービスを提供していきます。



必要なシステムから運用に至るまで
ワンパッケージで提供

CDPのサプライヤー・エンゲージメント評価で 2年連続、最高評価の「リーダー・ボード」を獲得

セコムは2月、国際的な環境NGOのCDPが2021年に実施した気候変動質問書のサプライヤー・エンゲージメント評価において、昨年に続き2年連続で最高評価である「リーダー・ボード」に選定されました。

この評価は、企業のサプライチェーン全体での気候変動に対する取り組みを、「ガバナンス」「削減目標」「スコープ3*」「サプライヤーとのエンゲージメント(協働)」の4分野から評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「リーダー・ボード」として選定。今回は、世界で約500社、日本企業から105社が選ばれました。

セコムは、「安全で快適な暮らしの基盤が地球環境の保全である」との認識のもと、あらゆる事業活動において地球環境保全に配慮した行動を実践しています。

昨年5月には、自社の温室効果ガス排出(スコープ1+2)を2045年までに排出ゼロにすることを掲げると共に、スコープ3についても2050年までに排出ゼロを目指すことを宣言し、同年7月には国際的気候変動イニシアチブ「SBTi」の「SBT (Science Based Targets)」認定を取得しました。

これからもセコムは、ステークホルダーの皆様と協力し、共に脱炭素社会の実現を目指していきます。

※サプライチェーンでの温室効果ガス排出量



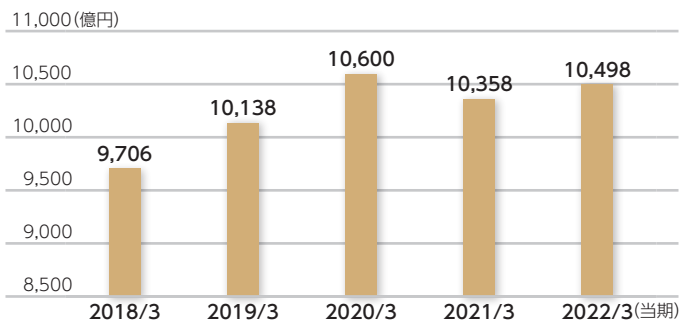
2021

地球環境保全に配慮した
取り組みが評価された

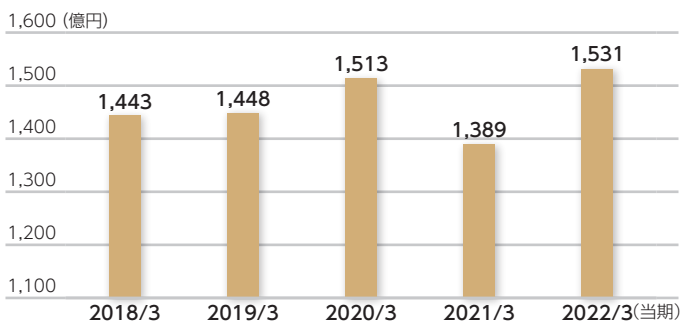
Review

連結決算 業績ハイライト

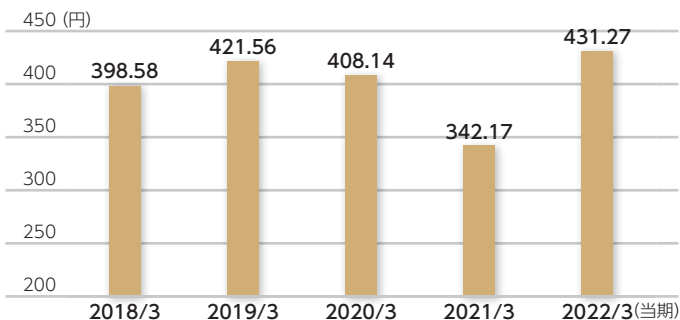
● 売上高



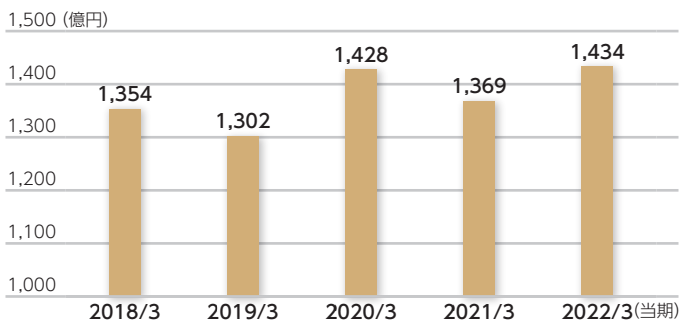
● 経常利益



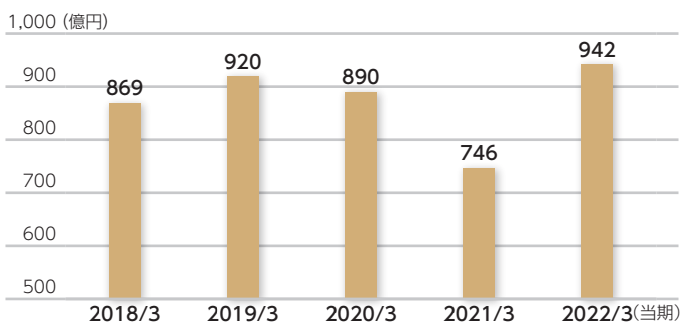
● 1株当たり当期純利益



● 営業利益



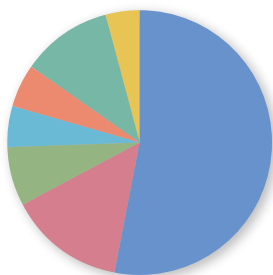
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 事業別売上高内訳 2022/3 (当期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	5,580	53.2%
● 防災事業	1,488	14.2%
● メディカルサービス事業	745	7.1%
● 保険事業	526	5.0%
● 地理空間情報サービス事業	563	5.4%
● BPO・ICT事業	1,156	11.0%
● その他事業	436	4.1%



Review

● 営業の概況（連結）

当連結会計年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、企業収益や個人消費などで持ち直しの動きが見られました。また、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かうなかで、国内外の感染症の動向による経済の下振れリスクや金融資本市場の変動、国際情勢の不透明感の高まりや原材料価格上昇の影響などにも留意が必要となる状況が続きました。

このような状況において、セコムグループは、「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する「社会システム産業」の構築を目指すなかで策定した「セコムグループ2030年ビジョン」、また、その実現に向けて今何をすべきかを明確化した「セコムグループ ロードマップ2022」への取り組みを積極的に展開しています。

2021年7月から9月にかけて開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では「オフィシャルパートナー（セキュリティサービス&プランニング）」として協賛し、競技会場や関連施設の警備を実施することで、大会の「安全・安心」な開催に貢献しました。また、2022年1月には、深刻な人手不足と高まるセキュリティニーズに対応するため、世界初となる、AIを活用し警戒監視や受付業務などを行う「バーチャル警備システム」を販売開始したほか、商業施設やオフィスビルなどさまざまな場所に調和しながらAI・5Gなどの最先端技術を活用して警備業務を行うセキュリティロボット「cocobo（ココボ）」の販売を開始しました。さらに、2月には、「Apple Watch」や「iPhone」を使ってより快適に、より楽しく、「セコム・ホームセキュリティ」を使用できる「SECOM カンタービレ」アプリを提供開始するなど、当期もさまざまな取り組みを通じて、ますます多様化・高度化するお客様の安心ニーズに対し、きめ細やかな切れ目のないサービスを提供することに努めました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は1兆498億円（前期比1.3%増加）、営業利益は1,434億円（同4.8%増加）、経常利益は1,531億円（同10.2%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は942億円（同26.2%増加）となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新しました。

Profile

● 会社概要



セコム株式会社

設立 …… 1962年7月7日

所在地 …… 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-5-1

資本金 …… 664億円

- グループ総会社数 (セコム(株)含む) …… 178社
連結子会社数 …… 161社
持分法適用関連会社数 …… 16社
- グループ総社員数 …… 64,421名
(2022年3月31日現在)

取締役 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司
取締役 (社外)	廣瀬篁治*
取締役 (社外)	河野博文*
取締役 (社外)	渡邊 元*
取締役 (社外)	原 美里*

監査役 (2022年6月28日現在)

監査役 (常勤)	伊東孝之
監査役 (常勤)	加藤幸司
監査役 (社外)	加藤秀樹*
監査役 (社外)	安田 信*
監査役 (社外)	田中節夫*

*印の7名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

執行体制 (2022年6月28日現在)

● 取締役

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司

● 執行役員

常務執行役員	古川 顕一
常務執行役員	上田 理
常務執行役員	山中善紀
常務執行役員	杉本陽一
常務執行役員	福満純幸
常務執行役員	永井 修

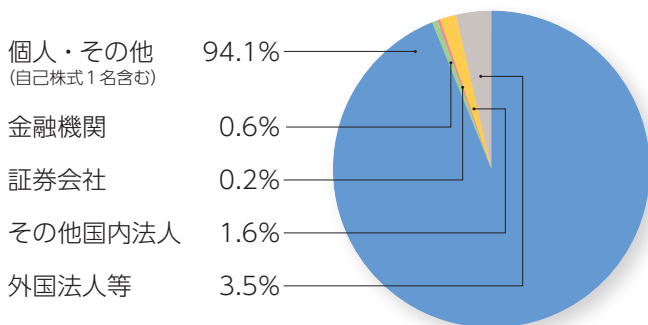
執行役員	進藤健輔
執行役員	桑原靖文
執行役員	福岡規行
執行役員	赤木 猛
執行役員	佐藤貞宏
執行役員	長尾誠也
執行役員	植松則行
執行役員	小松 淳
執行役員	千田岳彦
執行役員	中田貴士
執行役員	森田通義
執行役員	稲葉 誠
執行役員	杉本敏範
執行役員	荒木 総
執行役員	滝沢 聡
執行役員	澤本 泉

Information

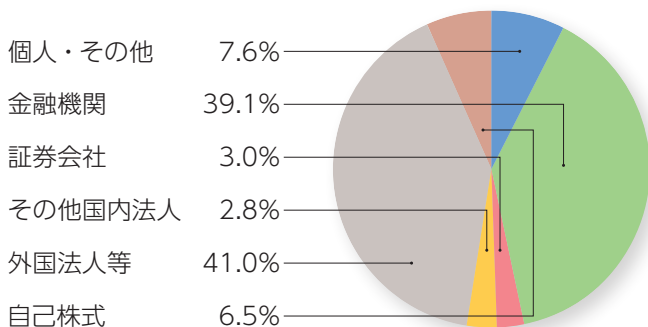
● 株式の状況 (2022年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 …………… 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 …………… 233,298,049株
3. 単元株式数 …………… 100株
4. 株主数 …………… 23,401名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 毎年3月31日現在における当社株式
100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<https://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合
には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある
株主様は… ▶ 口座がある証券会社へ
お問い合わせください。
- 特別口座に
記録されている株式の
株主様は… ▶ 下記の特別口座管理機関
三菱UFJ信託銀行(株)へ
お問い合わせください。
- 未払い配当金の
お支払いに関する
お問い合わせは… ▶ 下記の株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部


ご郵送先

〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きに関する
お問い合わせ

 **0120-232-711**

[平日9:00~17:00]

SECOM

あんしん for you

あなたに、安心な毎日をお届けするために。
今年創業60周年、ありがとうの気持ちを込めて。



セコム株式会社 ☎ 0120-756-892

セコム 検索 (9時~18時 年末年始を除く)

株主通信(No.140) 2022年6月発行 発行/セコム株式会社 東京都渋谷区神宮前1-5-1 〒150-0001 電話(03)5775-8100 FAX(03)5775-8902

〈表紙写真のご説明〉 AI・5Gなどを活用したセキュリティロボット「cocobo」(上)と、「Apple Watch」や「iPhone」でホームセキュリティを操作できる「SECOM カンタービレ」アプリ(中)と、AIを活用して警戒監視や受付業務などを行う「バーチャル警備システム」(下)



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。